

地域医療体制及び医師・看護職員の確保について

中国部会提出

地域医療を取り巻く環境は、依然として医師・看護職員の不足、人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化、医療の高度化など様々な要因により厳しい状況が続いている。

特に、医師・看護職員の不足により、地方、中山間地域、24時間応需診療科（産科・小児科・救急・外科など）で医療提供体制の維持が困難な状況となっている。

地域医療を支える開業医も高齢化が進み、地域で必要な医療提供体制確保も難しくなっており、夜間救急診療所・休日在宅当番医制による一次救急や、病院群輪番制による二次救急の医療体制の維持が困難な状況になってきている。また、分娩を取り扱う医療機関数の減少により、住民の不安を招いている。

さらに、看護職員の不足については、看護師等養成施設への運営費の補助等、看護職員確保に向けた様々な施策を講じているところであるが、学生募集の停止や閉校などにより、地域医療を支える看護職員の更なる不足が見込まれている。

よって、医師・看護職員の養成・確保については、国全体としての取組が必要であることから、国におかれては、医師・看護職員偏在是正に向けた総合的な検討を行い、地域の実情を踏まえた課題を整理し、国が主体となった地域医療体制の充実を含めた実効性のある施策の推進と財政支援を強く要望する。